

令和7年度
(2025年度)

沖縄県立芸術大学
美術工芸学部

入学試験問題

実技（事前に制作された作品の提出）（対面入試）

【出題内容】

(1)彫刻1点(1～2年前から現在までに制作したものに
限る。)
(2)デッサン
1～2年前から現在までに描いたデッサン2枚。紙の種
類、大小を問わない。

【出題意図】

制作における思考力、造形力、発想力、独創性をみる。

作品資料・ファイルの提出（対面入試）

【出題内容】

作品写真集1冊
1～2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズ
のクリアファイル1冊にまとめて提出すること。

【出題意図】

造形行為への関心と、日頃の制作に対する意欲や取り組
みをみる。

小論文（対面入試）

【出題内容】

テーマ「私の作品について」
上記のテーマについて800字以内で述べなさい。
提出した彫刻1点とデッサン2枚や、作品資料・ファイル
に掲載した作品についてでも構いません。

【出題意図】

基礎的な知識、考察力と文章表現力をみる。

【試験時間】

1時間

【受験者が持参すべきもの】

筆記用具

面接（対面入試）

【試験時間】

一人20分程度。
面接待機中及び面接終了後に作品搬出を行う。

【出題意図】

論理的な思考力、コミュニケーション能力、主体的な学
習意欲等をみる。

実技試験（体験授業）（対面入試）

【出題内容】

10cm×10cm×10cmの立方体を作り、その上に配布されたカラーシート（必須）と雑誌（任意）を切り抜き、自由に構成しコラージュしなさい。立方体の展開図の形やのりしろの位置は自由とする。立方体は1～2個制作すること。

また、コンセプトシートに作品のテーマを自由に設定し、作品についてのコンセプトを記入すること。

【試験時間】

4時間

【受験者が持参すべきもの】

筆記用具

【提出するもの】

- ・立方体コラージュ（10cm×10cm×10cm）
1～2個
- ・コンセプトシート1枚

面接（対面入試）

【試験時間】

一人20分程度。

面接内で実技試験のプレゼンテーションを行う。

【出題意図】

出題内容から、自由に発想し表現できる能力をみる。独自の発想・表現力、および立方体全方向からの視点を意識し展開することができ、色彩感覚、構成力、制作に取り組む姿勢を含めて総合的に判断する。また、コンセプトシートへ適切な表現で制作意図を説明できる文章力も評価する。

【意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等がある事、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明する事ができる事を観点にしている。

素描（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

透明ビニール傘(1本)、フェイスタオル(1枚)、トイレットペーパー（1個）、玉ねぎ(2個)を机上で組み合わせ素描しなさい。

* 透明ビニール傘のメーカーは問わない。

* フェイスタオルの色や柄、メーカーは問わない。

* トイレットペーパーの色は白系統とする。メーカーは問わない。

【用紙及び画材】

木炭紙に木炭、又は画用紙に鉛筆。

【作品サイズ】

木炭紙は木炭紙サイズ。画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はフィキサチーフで定着し、画用紙の場合はパネルから切り離さずに梱包し提出）

【出題意図】

それぞれ形態・質感が異なるモチーフについて、どのように構想を立て、画面上で作品化することができるかを問う出題です。大きさが異なるモチーフに対しての「構成力」、色彩・質感・立体感などを把握する「観察力」、基礎的な「描写力」、また、モチーフの存在感を素描として作品化する「表現力」を評価します。

着彩（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

「自画像を自由に着彩しなさい。」

【用紙及び画材】

キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具又は水彩用具。

【作品サイズ】

キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出）

【出題意図】

人体の骨格、筋肉、皮膚の構造と作品画面における形態、色彩、質感、陰影、遠近、空間をどのように認識し、人体の存在感を着彩画として作品化することができるかを問う出題です。構図、形態、色彩、マチエール、構成の要素と観察力、着彩力、構成力を確認し、基礎的な描写表現力を評価します。

小論文（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

「あなたの好きな絵画作品を2点取り上げて論じなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで1200字以内。

【出題意図】

- ・志願者の芸術、美術に対する知識、関心、見識を判断するため。
- ・自らがとりあげた作品に対して、深く考察する姿勢や本人なりの解釈などを通して、観察力や探求心をみる。
- ・とりあげた作品を軸に自らの考えを述べることで、専門性への取り組みや将来への展開力をみる。

面接（遠隔入試／オンライン型）

課題作品、作品資料、小論文及び出願書類を基に面接試験を実施する。

素描（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

「素描として、モチーフ：手を細密描写しなさい。」

【用紙及び画材】

画用紙に鉛筆。

【作品サイズ】

木炭紙サイズまたはF15号パネルに水張り。画面の縦・横は自由。（提出時はフィキサチーフで定着しパネルから切り離さずに梱包し提出）

【出題意図】

- ・素描としてモチーフの各自の手の構造や立体感と光の捉え方などを図ると共に、各自の画面での構成能力と鉛筆素描の描写力を見る。
- ・細密描写としての各自の手の表情や腕の表情と共に、各自の皮膚や爪や皺などの細部の質感等の触覚的な表現力を見る。
- ・細密画の写実感覚と細密描写による各自の手の素描の新鮮な生命感や存在感などと共に、各自の素描全体の完成度を見る。

着彩（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

「自画像を自由に着彩写生しなさい。」

【用紙及び画材】

画用紙に水彩用具。

【作品サイズ】

木炭紙サイズまたはF15号パネルに水張り。画面の縦・横は自由。（提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出）

【出題意図】

- ・着色写生による人物表現として、各自の顔や髪などの自画像の色彩感覚や構成感覚と共に各自の表現力と描写力を見る。
- ・自画像として各自の肖像的な写実力と共に、各自の空間感覚と構想意図や創作力を見る。
- ・各自の人物画としての創造性や人物の生命感と共に、各自の自画像の全体の独自性や作品の完成度を見る。

小論文（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

「あなたの好きな絵画作品を2点取り上げて論じなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで1200字以内。

【出題意図】

- ・志願者の芸術、美術に対する知識、関心、見識を判断するため。
- ・自らがとりあげた作品に対して、深く考察する姿勢や本人なりの解釈などを通して、観察力や探求心をみる。
- ・とりあげた作品を軸に自らの考えを述べることで、専門性への取り組みや将来への展開力をみる。

面接（遠隔入試／オンライン型）

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。

小論文（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「任意の作品を一つ選び、それについて論じなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで7枚2,800字以内

【注意事項】

- ・タイトルは自分でつけること。
- ・執筆の際に参照した紙媒体の書籍・文献を一つ以上記すること。

【出題意図】

日頃より関心を寄せ愛好する芸術分野や作品が存在することが、芸術学の探究における重要な端緒となることから、本課題により、知識、主体性および意欲を見極めたい。

また、そうした芸術分野および作品の鑑賞経験や知識について、さらにそこから発展させた思考や省察について、他の人にも理解可能な明瞭な言葉で論述できることが芸術学の学生に求められる基礎的素養であることから、本課題により、文章の技能および思考力、判断力、表現力を見極めたい。

口述試験（遠隔入試/リアルタイム型）

【内容】

小論文を基に口述試験を実施する。

面接（遠隔入試/リアルタイム型）

【内容】

出願書類を基に面接試験を実施する。

デッサン（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

モチーフ：食材1点・キッチン用品1点・タオル類1点、以上3点のモチーフ（いずれも自分で選んだもの）を自由に配置して鉛筆デッサンした作品。

【作品サイズ】

B3サイズの画用紙を1枚提出すること。
※4つ折にして作品集と共に送付すること。
(返却しない)

【出題意図】

デザイン分野全般において必要であり基盤となる、描写力を見る。これらのモチーフから、形状を立体的かつ正確に描く力・素材の質感や色を描き分ける力・モチーフ同士の関係性を理解し空間を描く力を見る。また、表現力を総合的に判断する。

小論文（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「あなたが改善したいと思う日常のデザインについて述べなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4版・縦書）手書きで1,200字以内
※出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

【出題意図】

デザインについてすでに理解している事象や考え方を聞くことによって、デザイン学習の姿勢や意欲、適応能力を見る。

面接（遠隔入試/オンライン型）

【内容】

課題作品・作品集、及び小論文を基に面接試験を実施する。

その他（試験科目外の提出物）

【内容】

デッサン以外に、面接時の参考作品として、受験者が3年以内に制作したもの（3点以上・10点以内、立体作品、サイズの大きい作品は写真にすること）をA4のクリアファイル1冊にまとめた作品集（氏名を明記する）。

【出題意図】

日頃から行なっている活動のうち、デザインそのものへの興味や素養、情熱などを総合的に判断する。

鉛筆デッサン（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

ペットボトル（500ml銘柄自由）・野菜または果物、以上2点のモチーフを自由に配置して鉛筆デッサンした作品。

※出願時に送付すること。3枚提出すること。
（返却しない）

【作品サイズ】

A3サイズの画用紙（水張りパネル不可）

【出題意図】

素描については、モチーフ2点を出題し、自由に配置しての鉛筆デッサンを課している。（ただし、モチーフの加工は不可）出題モチーフは、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、それらモチーフの質感や特徴を観察し、構造を理解できる思考力や鉛筆で描き分ける描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面構成力と共に、モチーフに対する印象などの表現力も合格基準の観点にしている。

作品ファイル・収集資料（遠隔入試／提出型）

【出題内容】

これまでに制作した作品や収集資料などのあなたの美意識をアピールできるもの。

※出願時に郵送等にて送付すること。（持ち込み不可）
試験終了後に返却する。

【作品サイズ】

A3サイズのファイル1冊にまとめる。

【出題意図】

作品ファイルについては、高等学校在学または受験前に制作した素描・色彩構成・絵画作品・立体作品・写真等、様々な素材を用いた表現作品により、意欲、資質、能力を知り、総合的な観察力、思考力、表現力などを判断する。収集資料については、何に興味関心を持ち、どのような表現に魅力を感じているかをみる事により、学生の個性や美意識を多面的に評価する。

小論文（遠隔入試／提出型）

【内容】

あなたが作品制作をする際にテーマにしたいと思う「美しい自然（動植物・風景・現象など）」について述べなさい。

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで2,000字以内

【出題意図】

「美しい自然（動植物・風景・現象など）」

課題の意図をくみとり、「工芸」、「美術」に関する興味、関心、意識も含め、独自の持論を展開する思考力、文章の構成力を評価の観点にしている。

面接（遠隔入試/オンライン型）

【内容】

小論文や調査書、推薦書等を基に面接を実施する。また、作品ファイルや収集資料等の中から、自分がアピールしたい主要な物を選び、それを基にプレゼンテーションを実施する。

【出題意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等がある事、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明する事ができる事を観点にしている。

素描（対面入試）

【出題内容】

「手とモチーフを組み合わせ素描しなさい。」

【試験時間】

6時間

【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

手とモチーフを組み合わせることにより、どのような着想から構想を立て、自身の構想を素描として作品化することができるかを問う出題です。構図・形態・色彩・構成の要素と、構想力・観察力・素描力・構成力を判断し、基礎的な描写表現力を評価します。

【モチーフ参考画像】



着彩（対面入試）

【出題内容】

「配置されたモチーフを自由に描きなさい。」

【試験時間】

9時間

【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

形態、色彩の異なる複数のモチーフについて、どのように認識し、モチーフの存在感を着彩画として作品化することができるかを問う出題です。工業製品が持つ形態・色彩・質感・立体感などを把握する「描写力」、作品画面において空間を考察する「構図」、着彩作品としての「表現力」を評価します。

【モチーフ参考画像】



面接（対面入試）

【内容】

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

素描（対面入試）

【出題内容】

「モチーフを素描しなさい。」

【試験時間】

6時間

【モチーフ】

- ・ワイングラス 1個
- ・クロトンの葉 1つ
- ・レンガ 2個
- ・りんご 1個
- ・松ぼっくり 2個
- ・薄手のタオル 1枚

【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

- ・モチーフのなかでも固有色の違うもの、質感の違うものを出题することで、色の淡いものもしっかりと描き込めるか、色の濃いものは質感や表現が同じにならないか、といった描写力と全体感を確認するため。
- ・モチーフの主従関係を把握し、画面内でバランスの良い構図をとることができるか、手前から奥、左右の広がり、そのなかでのメインの存在感を軸にした空間を出すことができるか確認するため。

【モチーフ参考画像】



着彩（対面入試）

【出題内容】

「モチーフを着色写生しなさい。」

【試験時間】

9時間

【モチーフ】

- ・石膏像 1体
- ・コーラ缶 1本
- ・小瓶 1本
- ・りんご 5個
- ・クロトンの葉 2つ
- ・薄手のタオル 1枚

【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

- ・自然物と人工物をしっかりと観察し、絵具でモチーフの固有色や質感の違い、存在感などを表現することができるかを確認するため。
- ・画面内に光の方向を設定し、しっかりと画面全体の色彩バランスを把握し構成する構成力、光の印象から空間的な広がりを捉え、空気感、やわらかな光を表現し、雰囲気ある画面に仕上げる描写力をみるため。

【モチーフ参考画像】



面接（対面入試）

【内容】

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

素描（対面入試）

【出題内容】

石膏像「アリアス」を描きなさい。
※木炭又は鉛筆（併用も可）

【試験時間】

6.5時間

【受験者が持参すべき用具】

- ・素描用具一式（計り具は使用可）
- ・下敷用紙（未使用紙）
- ・木炭は本学で用意する。

【出題意図】

対象の形態を把握する「観察力」と、画面上で確かな存在感を表現する基礎的な「描写力」をみる。

【モチーフ参考画像】



塑造（対面入試）

【出題内容】

石膏像（古代ヴィーナス（アパタ））を模刻しなさい。
※心棒組みの工程は本学で用意するので含まない。

【試験時間】

6時間

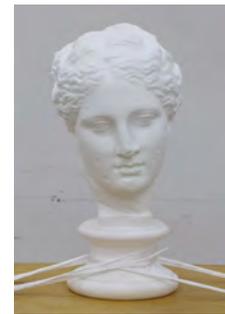
【受験者が持参すべき用具】

- ・鉛筆、消具
- ・塑造用具は本学で用意する。

【出題意図】

対象の形態を把握する「観察力」と、画面上で確かな存在感を表現する基礎的な「描写力」をみる。

【モチーフ参考画像】



面接（対面入試）

【試験時間】

一人20分程度

【受験者が持参すべきもの】

- ・1年以内に描いた素描5枚
（紙の種類、大きさを問わない。）
- ・その他作品資料があれば持参する。

【出題意図】

論理的な思考力、コミュニケーション能力、主体的な学習意欲等をみる。

素描

【出題内容】

たまねぎ
鉛筆デッサン

【受験生が準備すべき道具など】

- ・鉛筆
- ・消しゴム

【注意事項】

- ・イラストボードの縦・横は自由とする。
- ・モチーフのたまねぎは各自で用意する。
- ・たまねぎは皮付きの丸ごと一個の状態、剥いたり切ったりしていないものとする。

【出題意図】

- ・たまねぎを描かせることにより、基本的なデッサン力を問う。
- ・画面構成、空間、形、量感への理解と表現力を持っているかを見る。

小論文

【出題内容】

問1) 別紙の文章を読んで、著者が言わんとしているところを文章として要約して記述し、これを踏まえた上で、自分の考えを述べなさい。

(出典：榎木野衣『感性は感動しない美術の見方、批評の作法』世界思想社、2018年、32-36頁)

問2) 戦争と美術について、具体的な作例を挙げながら、自分の考えを論述しなさい。

【出題意図】

問1は、榎木野衣『感性は感動しない美術の見方、批評の作法』の一部を読んで問題に解答するもの。高校生でも理解しやすい平易な記述である。論旨をまとめる作業で文章の理解力を確認するとともに、それに対する自らの見解を表現する力をみる。

問2は、「戦争」という古代から現代まで絶えない事象と美術の関係について、適切にテーマを設定し、効果的な作例を選び、合理的に自分の意見を論述できるかをみる問題である。日頃から美術に関する情報を収集し考える、実物か複製かを問わず作品を鑑賞する経験を積む、社会における美術の役割を意識する、自分の考えを的確な言葉と論理で説明する力をつけることが望まれる。

面接（対面入試）

出願書類などを基に面接試験を実施する。

【試験時間】

一人20分程度

素描（対面入試）

【出題内容】

与えられたモチーフすべてを自由に構成し、描写しなさい。

【試験時間】

6時間

【モチーフ（材料）】

- ・牛乳瓶
- ・タオル
- ・フォーク

想定：「正方形」寸法6cm×6cm×6cmを3個
（素材：木材、レンガ、石材）

【提出物】

問題用紙1枚、画用紙(B3)1枚、下書き用紙(A3)2枚

【注意事項】

- ① 想定モチーフ「立方体」は、すべて画面内に自由に配置すること。指定されたそれぞれ3つの素材で描写すること。
- ② 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。
- ③ 受験番号記入欄のある面を表とする。
- ④ モチーフは台紙からはみ出してもよい。

【出題意図】

デザイン分野全般において必要であり基盤となる描写力をみる。与えられたモチーフの全体の形状から細部まで、立体的かつ正確に描く力・素材の質感や色を描き分ける力・モチーフの関係性を理解し、空間を描く力をみる。また、制作の一部に想定モチーフ(形状・質感等を指定)による構成力や発想力を含めて総合的に判断する。

【モチーフ参考画像】



色彩構成（対面入試）

【出題内容】

与えられたモチーフをもとに色彩構成しなさい。
また、制作意図をA4答案用紙に100文字以内で簡潔に説明しなさい。

【試験時間】

3時間

【各自で用意するもの】

鉛筆、消しゴム、筆、筆洗、パレット(絵具皿)、下敷き

【提出物】

- ・問題用紙・答案用紙・イラストボード(A4)1枚
- ・A4下書き用紙5枚・モチーフ

【注意事項】

- ① 以下の与えられた4色絵の具で着彩すること。
マゼンタ(赤紫)、イエロー(黄)、シアン(青)、ホワイト(白)
- ② アイディアスケッチは準備されたA4の下書き用紙を使用すること。
- ③ 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。
- ④ 作品の天地方向を受験番号の左横に、↑(天)で明記すること。
- ⑤ 受験番号記入欄のある面を裏とする。

【出題意図】

与えられた物(モチーフ)を基に、自由な発想力と視覚表現できる制作力をみる。一般的な彩色用具である水彩絵具を使って、構図や配色で意図する平面上における構成力をみる。また、適切な表現で制作意図を説明できる文章力も評価する。

【モチーフ参考画像】



立体構成（対面入試）

【出題内容】

「浮遊感」をテーマに自由に発想し、下記の材料を用いて立体物を造形・構成して

その立体物をA3イラストレーションボード（台紙）上で自立させなさい。

また、制作意図をA4答案用紙に100文字以内で簡潔に説明しなさい。

【試験時間】

3時間

【各自で用意するもの】

鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、コンパス

【提出物】

- ・A3ケント紙上の立体物
- ・答案用紙
- ・A4下書き用紙5枚

【注意事項】

- ① 立体物はケント紙で制作する事。
- ② 立体物には線描き、着色はしない事。
- ③ ケント紙は自由に加工して良いものとする。
- ④ マスキングテープは仮止め用として使い、構成要素としない事。
- ⑤ 作品正面の右に、「受験番号」「氏名」をA3ケント紙上に明記すること。

【出題意図】

抽象的なテーマから、自由に発想し立体で表現できる力をみる。アイデアの新規性と発想力を踏まえた表現力、および立体として自立する構造を理解する力・全方向からの視点を意識し美しくまとめることができる構成力を含めて総合的に判断する。

面接（対面入試）

【内容】

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

素描（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

ペットボトル、にんじん、トイレットペーパー、フォークを机上に自由に配置し、B3画用紙に鉛筆デッサンしなさい。

【モチーフ】

1. ペットボトル（水500～600ml。未開封。ラベルが巻かれているもの。） 1本
2. にんじん（オレンジ色のもの。品種サイズ自由。葉がないもの。） 1本
3. トイレットペーパー（白。シングル。未使用。紙芯があるもの。） 1巻き
4. フォーク（金属製。サイズは自由とする。） 1本

【各自で用意するもの】

- ・モチーフ（ペットボトル、にんじん、トイレットペーパー、フォーク）
- ・一般的な鉛筆、消しゴム
- ・一般的な B3 画用紙

【提出するもの】

B3 画用紙に鉛筆デッサンした 素描 1点

【注意事項】

- ・ペットボトルの本体が無色透明なボトルを使用する。炭酸不可。ラベルレスのボトルは不可。
- ・トイレットペーパーの素材はパルプ、古紙、再生紙いずれも可とする。紙芯のないものは不可。着色や柄のあるもの、エンボス加工は不可。包装は取り外して使用する。長さ40cm程度であれば、巻きから紙を引き出して描いても可とする。
- ・モチーフは全て描き、加工しないこと。
- ・画用紙はヨコ位置とする。
- ・裏面右上に正しく、前期日程及び氏名を明記すること。
- ・制作時間は任意とする。

【出題意図】

素描については、モチーフ4～5点を出題し、自由に配置しての鉛筆デッサンを課している。（ただし、モチーフの加工は不可）出題モチーフは、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、モチーフの質感や特徴を観察し構造を理解できる思考力や鉛筆で描き分ける描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面構成力と共に、モチーフに対する印象などの表現力も合格基準の観点にしている。

色彩構成（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

りんご、フォークを使い、B3ケント紙又は画用紙に自由に色彩構成しなさい。

【モチーフ】

1. りんご 1個
2. フォーク

【各自で用意するもの】

- ・モチーフ（りんご、フォーク）
- ・一般的な絵の具、鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、カッターナイフ、コンパス、筆、筆洗、パレット（絵皿）、雑巾、水差し（スポイト）
- ・一般的な B3 ケント紙又は画用紙

【提出するもの】

B3 ケント紙又は画用紙に絵の具で着色した 色彩構成 1 点

【注意事項】

- ・りんご（赤味のものとする。）1個
- ・りんごの品種、サイズは自由である。
- ・それぞれのモチーフの使用方法や使用回数は自由である。
- ・ケント紙又は画用紙はヨコ位置とする。
- ・裏面に色彩構成の上下が分かるように矢印（↑）で構成の上を明記すること。
- ・裏面右上に正しく、前期日程及び氏名を明記すること。
- ・制作時間は任意とする。

【出題意図】

色彩構成については、モチーフ 2～3 点程度を出題し、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、モチーフの質感や特徴を観察し、構造を理解できる思考力や描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面を美的に構成する構成力、効果的に着彩しているかなどの色彩感覚、モチーフに対する印象から受ける独自の発想・表現力を合格基準の観点にしている。

面接試験（対面入試・プレゼンテーションを含む）

【出題内容】

- ・面接は調査書を基に実施する。
- ・プレゼンテーションは実技試験で制作した素描及び色彩構成を基に実施する。

【出題意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等がある事、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明する事ができるかを観点としている。

着彩（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「モチーフを机上で自由に配置し着彩しなさい。」

モチーフ

- ・ A4サイズの白紙（1枚、紙質は問わない）
- ・ ビニール袋（透明1枚、おおよそ幅25cm、長さ35cm）
- ・ 白い鶏卵（3個）
- ・ 人参（2本）
- ・ アボカド（2個）
- ・ ガラスコップ（透明1個）
- ・ 赤レンガ（1個、おおよそ21cm×9cm×6cm）

【留意点】

- ・ モチーフは各自で準備する。
- ・ 出題に関する質問は受け付けません。

【作品サイズ】

キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出）

【出題意図】

形態、色彩、質感の異なる複数のモチーフを如何に机上で構成し、作品画面において形態、色彩、質感、陰影、遠近、空間をどのように認識し、モチーフの存在感を着彩画として作品化することができるかを問う出題です。構図、形態、色彩、マチエール、構成の要素と観察力、着彩力、構成力を確認し、基礎的な描写表現力を評価します。

小論文（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「あなたの自然について、それ以外のものと比較して論じなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

【留意点】

出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

自然という根源的で多様な存在に対して、知識を体系化しつつ独創的な着眼点を持ち得るか。その着眼点が、それ以外のものとの比較の中で、どれくらい解像度高く表現できるか。

面接（遠隔入試/オンライン型）

【内容】

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。

着彩（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「任意の室内風景と鏡に映る自分、卓上のガラスのコップ(形は任意)を構成して、着色写生しなさい。」

【留意点】

出題に関する質問は受け付けません。

【作品サイズ】

木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。
(※提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出)

【出題意図】

- ・自分を着色写生することで、各自の色彩感覚と描写力を見る。
- ・任意の室内風景を加えることで、各自の空間感や構成力を見る。
- ・出題からの発想力や創造性、そこからの作品全体の完成度を見る。

小論文（遠隔入試/提出型）

【出題内容】

「あなたの自然について、それ以外のものと比較して論じなさい。」

【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

【留意点】

出題に関する質問は受け付けません。

【出題意図】

自然という根源的で多様な存在に対して、知識を体系化しつつ独創的な着眼点を持ち得るか。その着眼点が、それ以外のものとの比較の中で、どれくらい解像度高く表現できるか。

面接（遠隔入試/オンライン型）

【内容】

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。